

# 区民アンケート調査結果概要

1

## アンケート調査の概要

### 調査の目的

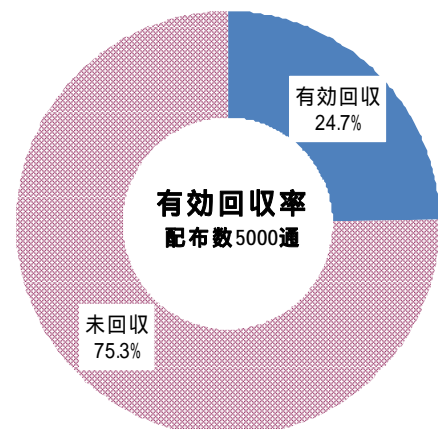
区の将来像や土地利用の方向を示す「都市計画マスタープラン」の見直しにあたって、広く区民の意見を伺うため「まちづくりアンケート」を実施しました

### 調査内容

調査地域	区全域
調査対象者	区内在住の方 5,000名
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査期間	平成20年 10月30日～11月28日

### 有効回収率

有効回収率 24.7%  
(有効回収数1,225 / 配布数5,000)



2

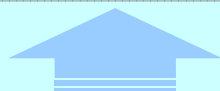
# 区民アンケート結果の全体概要

3

## まちづくりの重要性

安全で安心できるまちづくりについて

第1位 : 災害時の避難経路の案内情報が充分でない  
(80.0%)



第2位 : 避難場所や災害活動拠点の整備が必要  
(79.8%)



第3位 : 緊急車両の通行出来る道路整備  
(79.7%)

4

## まちづくりの重要性

安全・快適な交通体系づくり・公園・川を活かしたまちづくりについて

第1位 : 自転車用道路の整備 (73.1%)

第2位 : 幅の狭い道路の拡幅 (69.5%)

第3位 : 駅周辺の公共施設・大規模商業施設における駐輪場の整備 (67.3%)

第4位 : 川や池など水辺の自然環境の保全 (62.8%)

5

## まちづくりの重要性

景観づくり・産業環境づくりについて

第1位 : 地元商店街の活性化 (67.3%)

第2位 : 魅力ある商業の拠点づくり (58.1%)

第3位 : 地場産業を活かしたまちづくり (54.0%)

第4位 : 葛飾らしさを活かした景観づくり (48.2%)

6

## まちづくりの重要性

安全で活力と賑わいのあるまちづくりと多世代が定住できる住まいづくりについて

第1位 : 安全で快適な住宅づくり (80.1%)

第2位 : 高齢者が生き生きと暮らせる住宅づくり (79.2%)

第3位 : 若年世代や多世代住み続けたいと思える住宅・まちづくり (76.7%)

7

## 今後の葛飾区のまちづくりの方向

景観づくりに必要なことについて

第1位 : 幹線道路や商店街などの道路沿いの電柱を地中化する (47.7%)

第2位 : 防災性を確保しながら、路地の保全を図る (42.6%)

第3位 : 葛飾区を代表する歴史資源、文化資源の保全や活用を図り、景観づくりに活かす (38.2%)

8

## 今後の葛飾区のまちづくりの方向

### 区内へ定住する人口を増やすこと

第1位 : 子育て世帯の支援を強化する (59.3%)

第2位 : 多様な世代が定住できる環境づくりをする (50.4%)

第3位 : 高齢者世帯の支援を強化する (39.1%)

9

## 今後の葛飾区のまちづくりの方向

### 一般住宅地における良好な住環境

第1位 : 建物を道路面より後退することによりゆとりのある街並みにする (53.5%)

第2位 : 耐震補強や不燃化に、地域でルール化して取り組む (49.5%)

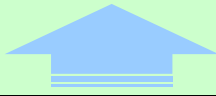
第3位 : 緑の多いまち並み形成のため、生け垣などを設置して住宅地の緑を増やす (48.2%)

10

## 今後の葛飾区のまちづくりの方向

### 優先的に整備を進める道路

第1位 : 区内の南北方向の道路の整備 (17.6%)



第2位 : 区内の東西方向の道路の整備 (11.6%)



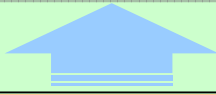
第3位 : 千葉県松戸市、市川市方面につながる道路の整備 (11.5%)

11

## 今後の葛飾区のまちづくりの方向

### 公園の整備について

第1位 : 自然の要素を多く取り入れた静的利用の「環境保全型」公園 (35.9%)



第2位 : 芝生や樹林など緑地を基本とする静的利用の「コミュニティ・ガーデン型」公園 (32.0%)



第3位 : 広場を中心とする動的利用の「多目的広場型」公園 (15.3%)

12